

議会だより



撮影者：フォト集団オリーブ 山田 洋子

「愛のボラード」でひとやすみ

- 審議議案 6月定例会・5月臨時会について…………… 2～4
- 一般質問 9人の議員が質問…………… 5～11
- 議会日誌…………… 12

6月定例会 審議した主な議案

6月定例会を6月16日に開催しました。条例案件1件のほか、契約案件2件、予算案件1件が提案され、報告2件がありました。全ての議案は原案通り可決されました。

補正予算

(一般会計)
第2号

補正予算額 2億703万円

総務費

故郷もりあげ隊員活動費
235万円

人口減少対策の一環としてUターン者を対象とした「故郷もりあげ隊員」の令和3年度における活動経費です。

Q. 隊員の任用期間は。

A. 令和3年10月から募集を開始し、「地域おこし協力隊」と同様に3年間の任用期間として考えている。



地域おこし協力隊活動報告会の様子

自治総合センターコミュニティ助成事業助成金
2000万円

地域活動の充実を目的に、室生、神浦、片城の3自治会へ備品や集会施設の整備に関する助成を行うものです。各自自治会の事業計画は次の通りです。

● 室生自治会

250万円
自治会館のエアコン、机等の備品

● 神浦自治会

250万円
夏祭りのやぐらステージ

● 片城自治会

1500万円
自治会館新築(木造平屋建)



自治会館建設予定地(片城)

地域防災組織育成助成事業助成金
200万円

南蒲野地区自主防災会が実施する防災備品倉庫等の整備に関して助成を行うものです。



令和元年度に整備された防災備品倉庫

マイナンバーカード出張受付事業費
234万円

マイナンバーカードの取得率向上を目的に公民館などで出張受付を行うため、専任の会計年度任用職員を雇用するものです。

Q. 具体的な期間や業務内容は。

A. 1回目を7月から10月まで行う。1カ月間で公民館に3館ずつ出張し、予約制で対応する。実施内容を検証したうえで、2回目を行う。

衛生費

新型コロナウイルスワクチン接種事業費
921万円

新型コロナウイルスワクチンの集団接種に係る指導医、看護師等

に対する報酬や接種会場での感染対策をとるための費用です。

Q. 集団接種における指導医は誰か。

A. 小豆郡医師会の医師が指導医となる。

民生費

子育て世帯生活支援特別給付金
1140万円

コロナ禍が長期化する中、子育て世代を支援するための給付金です。令和3年度住民税非課税世帯および令和3年1月以降に生活状況が急変した世帯を対象として、高校3年生までの子ども1人につき5万円を給付するものです。

農林水産業費

蒲野漁港防波堤改良工事費
1050万円

防波堤の被覆^{ひふく}ブロックが過去の台風により崩壊しているため、消波効果のある3トから5トの捨石を設置するものです。



蒲野漁港

商工費

新型コロナウイルス感染拡大防止対策緊急支援給付金
100万円

新型コロナウイルス感染者が発生した際に感染拡大を防止するため、事業所等が10日以上休業する場合に50万円の給付を行うものです。

第2次地域産業持続化給付金
1億1900万円

コロナ禍により厳しい経営環境にある法人、個人事業者の事業継続と再起および雇用維持を支援するための給付金です。

教育費

苗羽公民館修繕費
105万円

苗羽公民館東側玄関上部タイル面の修繕を行います。

土木費

雨水公共下水道整備工事費
1700万円

安田地区で実施している雨水幹線新設工事の事業費を増額するものです。



玄関上部の剥がれたタイル

条例の一部改正

小豆島町押印を求める手続の見直し等に伴う関係条例の整備に関する条例

行政手続の簡素化および申請者の負担軽減を図ることを目的として、窓口での一部の申請等の手続きにおいて押印を不要とする改正を行うものです。

補正予算案での討論

反対討論

マイナンバーカードの取得は任意であり、個人情報漏えいが危惧される。行政手続の効率化を理由に窓口業務が廃止、縮小されれば、デジタル機器を使いこなせない人は行政サービスから取り残される恐れがあることから、マイナンバーカードの取得促進を行う必要はないと考える。

賛成討論

マイナンバー制度は国の根幹を支えるものであり、もっと推進すべきものだと考える。

採決

賛成者多数により、原案可決。

物品購入契約

し尿収集車購入事業

●相手方

(有)サキヤマモータース

●契約金額

776万9579円

し尿処理汚泥運搬車購入事業

●相手方

(有)ソラノモータース

●契約金額

627万8505円

共に老朽化により新しく購入するものです。

Q. し尿収集車（バキュームカー）とし尿処理汚泥運搬車との違いは。

A. し尿処理汚泥運搬車は、みさき園に配備している。みさき園から汚泥を運搬するため、深型の荷台に腐食防止のためのステンレス鋼板が張られ、飛散防止シートが電動開閉する仕様となっている。



更新前のし尿処理汚泥運搬車（みさき園）

第1回臨時会を5月18日に開催しました。専決処分の承認2件のほか、契約案件2件、予算案件1件が提案され、報告2件がありました。議案は全て原案通り可決されました。

補正予算（第一般会計第1号）

総務費

衛生費

179万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業費

1880万円

高齢者施設、医療機関に対する新型コロナウイルスワクチン接種協力金やチラシ配布等に係る事業費です。



小豆島中学校体育館空調設備整備工事設計委託料

400万円

災害時における避難
所内での3密の回避、
熱中症対策の観点から
小豆島中学校体育館に
エアコンを整備するも
のです。



● 工事名
竹生漁港防波堤建設
地盤改良工事費

1億2155万円

●工事名

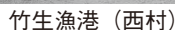
竹生漁港防波堤建設
ブロック製作工事費

● 相手方

(株)木村

7436万円

竹生漁港内への波の侵入を防ぎ、係船や物揚げ作業を円滑に行うため、漁港沖に新たに防波堤を設置するものです。



町税条例

軽自動車税環境性能割、住宅借入金等特別税額控除等について改正を行いました。

訂正とお詫び



正しくは、「西原環境・香川舗道特定建設工事共同企業体」

工事請負契約
●一般廃棄物最終処分場整備 貯留堰堤締切等工事

●相手方
株式会社 竹本組

●契約金額
6292万円

浸出水処理施設工事のために待機中であつた貯留堰堤の締切を行う工事です。

契約の変更
●一般廃棄物最終処分場整備 浸出水処理施設建設工事

●相手方
株式会社 竹本組

●変更前
10億2306万円

●変更後
10億9901万円

現地精査による契約の変更を行いました。多数の転石が確認されたことにより工法の変更を行ったためです。

辺地総合整備計画
新たに追加された計画は次のとおりです。

●橋梁
池田橋

●冷蔵
橋梁

●三都
橋梁

●消防
橋梁

●草壁
橋梁

●紅雲
橋梁

●下イレ更新
橋梁

その他
正しくは、「10億2300万円」

●議決
議決の一部を改正する

●改正
改正の理由

●男
男が活動しづくりのた

●由
由および出

●欠
欠席期間を

●規定
規定とともに、請

●願
願者の利便性の向上を

●願
願のため、議会への請

●願
願手続きについて改正

●行
を行いました。

6月定例会 一般質問

今期定例会の一般質問を6月16日に行い、9人が登壇しました。
一般質問とは、議員が町民の代表として町政全般にわたって、事務の執行状況や将来の方針などについて質問し、説明や報告を求めるものです。

森 弘章 (5 P)

- ・坂手港、将来展望は

浜口 勇 (6 P)

- ・新型コロナワクチン接種と今後は

柴田 初子 (6 P)

- ・2050年ゼロカーボンシティ宣言を

森口 久士 (7 P)

- ・町長の政治姿勢に関して
- ・消防団の処遇改善は

中松 和彦 (7 P)

- ・小豆島地域ブランド推進事業、土庄町との連携は

森 崇 (8 P)

- ・直接民主主義の強化を
- ・草壁港を守り、高松航路を続ける決意を固めるべき
- ・線状降水帯について

安井 信之 (9 P)

- ・コロナワクチン接種の情報開示を
- ・デジタル教育の現状は
- ・窓口・申請書類でのマイナンバーの活用を

大川 新也 (10 P)

- ・コロナ関連情報の迅速な周知を
- ・草壁・高松航路再開に向けて
- ・島八十八ヶ所札所維持への考えは

鍋谷 真由美 (11 P)

- ・さらなるコロナ対策を
- ・核兵器禁止条約批准への取り組みを
- ・ジェンダー平等の取り組み 学校トイレに生理用品を
- ・行政の「デジタル化」は

質問 坂手港は唯一、島と阪神とを直結する港であり、また、島民にとっては、進学、就職、新婚旅行等、各々、人生の出发点でもあった。また、観光小豆島にとつてドル箱とも言われるべき人口密集地、京阪神への直結便として、多くの人が利用された航路でもあり、昭和の高度成長期には、増便、臨時便等々の人波みであふれ、街並みは活況を呈していたが、度重なる航路の縮小、廃止といった変遷をたどるよう、街は歩調を合わせよう、衰退、現在に至っている。今年度予算において、旧サイクリングターミナル跡地に港務所機能を有する複合施設建設設計委託料が計上されたが、①その施設内容、建設計画は②港内周辺整備の町の方③水族館誘致向性は④水質改善



森 弘章 議員

時、収得した町有地の今後の活用は。

答弁 昨年、サイクリングターミナルを除去したことにより、かねてから、懸案であった、坂手港再整備について、廃棄物最終処分場整備にあつたので、地元自治会からの要望も鑑み、施設においては港務所機能だけでなく交通拠点として多様な機能を持たせる3階建て、移住相談窓口等、多機能スペースを有し、建物から新造船、客室フロアに直接乗船できる人道橋なども計画。

周辺整備について、ターミナルを軸として、ゆとりスペース、多目的広場等を計画、水族館誘致の際の取得町有地は、フェリー会社所有地と並びに同社への貸付地と合わせ、機能分担、面的整備を行う。

坂手港、将来展望は
町「新たな港務所建設を核に、官民一体での周辺整備に取り組む」



再整備待たれる坂手港

再質問 令和4年9月、新造船ジャンボフェリーの就航が予定されているが、それらに合わせた民活、また官民一体となった周辺再開発事業、賑わいづくりなどは考えられないか。

答弁 地方創生の観点からも重要なことで、民間活力による宿泊施設、飲食店街、産直市場等、就航に合わせた関係者共々検討していく。

新型コロナウイルスワクチン接種と今後は

町「町民の安全と安心を取り戻せるよう、全力を尽くしたい」



浜口 勇 議員

【質問】 6月定例会時点での新型コロナウイルスワクチンの接種状況と今後の経済の見通しは。

【質問】 6月定例会時点での新型コロナウイルスワクチンの接種状況と今後の経済の見通しは。

了についてめどが立ったものの、新たに12歳以上16歳未満の人が接種対象となるなど、日々変化している現状である。社会全体で感染予防対策を継続し、感染しても安心して医療を受けられる体制を維持することが重要である。

【答弁】 現在の集団接種のスピードを維持できれば11月末に接種完了の見込みである。早く町民の安全と安心を取り戻せるようにあらゆる施策に全力を尽くしたい。

【答弁】 ワクチンの接種状況については、小豆郡医師会、香川県、薬剤師会、香川大学医学部などの協力によりイメージジュセスターで集団接種がスタートした。6月16日時点の本町の高齢者のうち2回接種者は445人、1回接種者は2660人となっている。7月末での高齢者への接種完

【再質問】 国は10月から11月にかけて希望する国民全員への接種完了を目標にしているが、小豆島町での接種完了の見込みは。



イメージジュセスターでのコロナワクチン集団接種の様子



柴田 初子 議員

【質問】 地球温暖化は、自然や生活への影響など私たちの生活に様々な悪影響を与えている。大型化した台風や豪雨、それに伴って起きる洪水や土砂崩れなど二次災害も深刻である。夏には記録的な猛暑となり命を守るための熱中症対策も必要となっている。衣食住や移動などのライフスタイルに起因する温室効果ガスの排出量は、国全体の排出量の6割以上を占めるという分析がある。2050年ゼロカーボンシティ宣言についての考えは。

【答弁】 表明に関しては前向きに検討したい。その理由は、過去の集中豪雨による激甚災害の経験から、特に近年

2050年ゼロカーボンシティ宣言を

町「前向きに検討したい」

の地球温暖化に起因する気象災害の多発化、大規模化に危機感を感じていること、また、独自の気候風土を生かしたオリーブの栽培をはじめ、後世に引き継ぐべき豊かな自然環境を有していることなどから、小豆島町は地球温暖化対策に高い関心を持って取り組むべきであると考えている。昨年、土庄町と共同して策定した地球温暖化対策実行計画に基づき具体的な排出量抑制政策の立案や今後のロードマップの検討、そして住民、民間企業の理

解も必要であると考えている。これらの検討をスピード感をもって取り組み、時宜を得てゼロカーボンシティの表明を行いたい。

※ゼロカーボンシティとは、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことです。



環境にやさしい電気自動車

①町長の政治姿勢に関して

町「質問状に関して一切承知をしていない」



森口 久士 議員

い。航路事業者が、文章を見た結果、「全町的な協力が得られない状況であれば、事業への取り組みは慎重にならない」を「得ない」と事業者から聞いたことを申し上げた。

【再質問】航路事業者より出された条件は。

【答弁】駐車場、待機レーンなどが必要であると聞いている。

【再質問】議会に説明、対応していくべきではなかったのでは。

【答弁】予算が必要な場合は、提案すべきだと思うが、それま

②消防団の処遇改善は

町「報酬額の見直しなどの検討を進める」

【質問】消防庁は、災害が多様化、激甚化する中で消防団員の負担が大きくなっている、士気向上や団員確保に処

【答弁】報酬額の見直しや支給方法など検討を進め、団員の確保に努める。



運休中のブルーライン

【答弁】航路事業者との話し合いは、今の段階では時期尚早だと思つて、動きはしていない。

【再質問】町長として何をしたのか。

でに至ってなかった。

小豆島地域ブランド推進事業、

土庄町との連携は

町「合意形成を図りながら進めてきた」



中松 和彦 議員

【答弁】令和元年8月に事業への参画を打診し令和2年5月よりブランド推進委員会で、両町一体となって進めてきた。

【答弁】小豆郡は2町のみで構成されている。今後とも、情報の共有を図っていきたい。

【質問】小豆島の主に観光・食品産業の活性化を図るため、土庄町と連携して「小豆島地域ブランド推進事業」が進められてきた。5月10日・27日には両町をリモート形式で結んで総会・説明会が行われたが、最近土庄町側より、本事業に関し質問状が出されたと聞く。

【質問】土庄・小豆島両町の連携は、人口減少の著しい今日、重要性を増しているが、

この事業推進に、両町の連携は欠かせぬものと考えるが、今日まで、どのように合意を形成してきたのか。



小豆島ブランド推進委員会オンライン総会

①直接民主主義の強化を

町「『まちの情報お届け講座』を実施する」



森 崇 議員

町「『まちの情報お届け講座』を実施する」

【答弁】 町政のことを住民へ幅広く丁寧に伝え、政策についての理解、協力を得ることは、極めて大切だと考えている。

【質問】 4月23日の新聞に松本町長のインタビューが掲載され、私は何人がこの記事を読んでいるのかと読んだ。

令和3年度の新たな取り組みとして「まちの情報お届け講座」を実施し、直接住民のところへ出向いて町が取り組んでいる政策を伝えていく。

町長は、「コロナ逆手に移住促進」、「オリーブ・醤油・二十四の瞳・八十八ヶ所の霊場を宝物と捉え次世代に継ぐのが使命」と答えており、こうした施政方針を住民と直接話し合う「民主主義」が一番大切だと思うが町長の考えは。



②草壁港を守り、高松航路を続ける決意を固めるべき

町「町と島の魅力を高め、全ての港の活性化を目指す」

【質問】 あの決起集会を

はじめ、人々の熱い願いを実現するのが使命と考えている。池田港

うのは単なる数字ではなく、その理由で「草壁港」というのは間違っている。草壁港を守る根拠でもない。意見が分かれているなら

る。町長の考えは。

【答弁】 小豆島6つの港はそれぞれ歴史と役割があり、全ての港が住民の暮らしと産業を支えており、全ての航路が大切であると考えている。

能の維持管理を継続し、町と島の魅力を高め、海の復権と全ての港の活性化を目指すたい。

たことは一度もなく、土庄・池田・草壁の3航路を守る決意を改めて固めている。

人口・観光・商店の数等で「草壁港」と言

草壁・高松航路は大切な「指定航路」であり、今後も草壁港の機

池田港の駐車場については46台分の臨時駐車場を整備している。今後、駐車スペースが不足する状況になれば、随時拡張する予定である。

③線状降水帯について

町「防災・減災対策の強化に取り組む」

【質問】 「災害対策基本法」が5月20日に改正された。線状降水帯豪雨を災害の一因とし、

気象庁は「顕著な大雨に関する気象情報」を発表し、避難情報を5段階に表すそうである。

昭和49年7月6日の24時間の雨量は太陽の丘で365ミリの寒霞溪で352ミリの大雨であったが、土庄は28ミリの陽が照っており、高松は6ミリのほとんど雨が降っていないかったよ

うである。線状降水帯は当時からあったと思うが。

る。昭和49年、51年の大雨の影響が線状降水帯か判断しかねるが、いつ起こるか分からない災害に備えて、より一層、防災・減災対策の強化に取り組んでいく。

【答弁】 線状降水帯の定義は、数時間にわたって同じ場所で強い降水を伴う雨域とされている。

一層、防災・減災対策の強化に取り組んでいく。

① コロナワクチン接種の情報開示を

町「HP等で速やかに周知したい」



安井 信之 議員

高齢者の接種完了を達成するため、集団接種を実施するなど体制強化を図ってきた。

また、接種の案内は、混雑解消のため、一定の年齢に区切り、予約枠の状況に応じて案内を行っている。

キャンセル対応は、医師会と協議の上、郡内の医療機関で統一した方法で対応している。

【質問】 今住民の最大の関心事は、いつどのような形でコロナワクチンを接種できるかであると考えている。具体的な接種スケジュールなど情報開示すれば安堵感も得られるのではないかと。また、ワクチン接種のキャンセル対応や、接種券漏れの事案が発生した場合の対応は。

住民票が本町にない人が接種を希望する場合、接種券を転送した後、本町で予約すれば接種は可能となる。これらについては、町HP等で速やかな周知に努めたい。

【答弁】 5月24日から郡内の医療機関において在宅の高齢者への接種を開始、6月からは、政府目標の7月末の高



ワクチン集団接種会場（イメージセンター）

② デジタル教育の現状は

町「1日1時間タブレットを使った授業を目標」

使った授業を目標

【質問】 今年度からデジタル教育が始まったが、その現状は。また、成長期におけるブルーライト対策など数多くの課題についての考えは。

に無線LANを整備した。

教育委員会では、児童・生徒が1日1時間はタブレットを使った授業を受けることを今年度の目標にしているが、5月末に行ったアンケート調査では、毎日1時間以上使用させている教員は約33%という現状である。

【答弁】 本年3月に児童・生徒に1人1台のタブレットを整備し、校内ネットワークの高速化および全ての教室

タブレットの健康へ

③ 窓口・申請書類でのマイナンバーの活用を

町「条例や要綱を基に見直しを進めたい」

【質問】 デジタル化への取り組みはできることから始めることが必要であり、マイナンバーカードを提示すると、個人確認のための住民票等の添付が要らない

ようにするべきでは。

【答弁】 マイナンバーカードを提示することにより本人確認書類として使用できる。

住民票などの添付書

類を減らすことは、住民の負担軽減のため必要だと考えている。現在、役場内で確認できる書類は、個人情報を取り扱いに留意しつつ、添付書類を省略で

きる場合もあるが、条例や要綱などで添付があるので、住民の負担軽減が図られるよう、見直しを進めたい。



タブレットを使った授業の様子

の影響は、家庭でのICT機器の利用状況など、家庭と学校が連携して取り組むことが必要であり、今後の医学的評価を見ながら、適切に対応し、児童・生徒に悪影響が出ないよう努めたい。

① コロナ関連情報の迅速な周知を

町「可能な限り迅速な対応、周知に努める」



大川 新也 議員

状況も年代別に順調に進んでいると思うが、町民が知りたい情報の迅速な周知を行えないのか。

【質問】 今、町民にとっての関心はコロナ関連情報に注目されており、感染状況、ワクチン接種情報である。町対策本部にて十分に協議され、慎重な対応をされているが、情報伝達・周知に遅れの感があるのではないかと。感染者発生時、防災無線での町長自らの緊急メッセージやマスコミ情報では、町民にとっては詳細も分からず不安な毎日を感じている。個人情報、また誹謗中傷の問題もあるが、詳細な情報開示はできないのか。また、ワクチン接種

【答弁】 コロナ関連情報は、町民はもとより国民の最大の関心事と言って過言ではない。連日のように全国の感染者数、ワクチン接種報道に一喜一憂する状況である。感染者発生時の情報は県からの情報のみであり、私自身も必要に応じ町民に感染防止対策の徹底を呼びかけ、速やかに全戸にチラシを配布して周知した。ワクチン接種に関してもチラシを全戸配布し、緊急度、重要度を勘案しながら適時対応をしてきた。今後も可能な限り迅速な対応、周知に努める。

② 草壁・高松航路再開に向けて

町「港湾機能の維持管理を継続」

【質問】 3月末にて休止となつた草壁・高松航路、2カ月が経過しその後、どのような状況なのか。3月議会で町長は「港として機能が確保されている間は、わずかでも可能性が残されている」と答弁があり、今後どのような対策を講じていくのか。

【答弁】 また住民に向けての意見聴取、意識調査・アンケートなど町として行う考えは。能の維持管理を継続し、町と島の魅力を高め、海の復権と全ての港の活性化を目指したい。意向調査等については、住民団体による署名活動・アンケート調査での継続希望は一定程度把握しており、改めての実施は考えていない。



待たれる航路再開

③ 島八十八ヶ所札所維持への考えは

町「憲法上、公金の支出は禁じられている」

禁じられている」

【質問】 最近、地区管理の札所（庵）の解体、改修問題が発生した。「行政からの何らかの助成は考えられないか」と聞かれた。政教分離の観点から難しいと考える。

【答弁】 最近、地区管理の札所（庵）の解体、改修問題が発生すると考えられるが、観光の島として、歴史・伝統のある島遍路、札所の維持管理に対して観光面の観点からの支援は考えられないか。

【答弁】 札所については、現在も、文化遺産であると同時に貴重な観光資源、島の風物詩であるが、年々巡拝者が激減し、札所の寺社や庵などは、その維持に苦



地域の力で改修した札所



鍋谷 真由美 議員

①さらなるコロナ対策を

町「第2次地域産業

持続化給付金を拡充実施」

業、個人事業主、労働者に十分な補償と生活支援が必要では。

【答弁】PCR検査等は、さらなる対策を香川県にお願ひし、県と町が役割分担し、感染防止対策を講じたい。

今回補正予算に第2次地域産業持続化給付金を計上、会社法人以外の法人や個人事業者に拡大、給付額も増額、分納誓約で対象とする町税の完納要件を緩和した。

③ジェンダー平等の取り組み 学校トイレに生理用品を

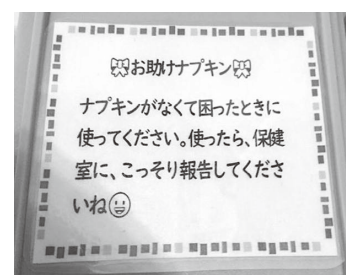
町「従来どおり保健室に常備」

【質問】ジェンダーとは、生物学的な性別に對し、社会が人々に押しつける社会的、文化的につくられた性差のこと、ジェンダー平等とは、そうした意識を乗り越え、対等な関係性をつくっていくという考え方。町長の認識、本町の取り組みは。

【答弁】持続可能な開発目標SDGsの一つであり、性差による差別や社会的、文化的障壁の撤廃であり、取り組むべき重要な課題。

女性管理職員の割合は17・2%で目標値を超えた。

児童・生徒への配慮が必要であり、従来通り保健室に常備することと対応する。学校からトイレに常備するよう希望があれば、その時点で対応したい。



トイレに設置された生理用品（土庄中）

②核兵器禁止条約批准への取り組みを

町「国政の場で議論すべき」

【質問】今年1月22日発効した核兵器禁止条約は、核保有国に核廃絶を求める大きな力になる。しかし政府は、条約に参加せず、被爆者や国民の願いに冷たく背を向けている。町長

の見解は。

非核平和宣言町として、政府に早期批准を求め、懸垂幕掲示など批准推進の取り組みを。

【答弁】国政の場で議

論すべきで、町長としての答弁は差し控える。平和の町小豆島町宣言にのっとり、様々な機会に核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の大切さを呼びかけたい。

④行政の「デジタル化」は

町「よりよい行政サービス提供の上で重要な施策」

【質問】デジタル関連法は行政のデジタル化を通じて集まる膨大な個人情報をもっと積極的に活用する仕組みを拡大するもの。プライバシー権をおろそ

かにしたデジタル化では利便性向上にならない。デジタル技術のありなしで行政サービスに格差があつてはならない。町長の認識は。

【答弁】行政のデジタル化は、よりよい行政サービスを提供する上で重要な施策である。町民の間で格差が生じないよう、対応を積極的に推進したい。

総務建設常任委員会

5月18日、総務建設常任委員会を開催しました。

建設課から雨水浸水被害への対策として、雨水を排除するための雨水公共下水道事業について説明を受けました。

現在安田地区で進めている都市下水道再整備事業や片城・馬木地区のポンプ場の更新工事に続き、対象区域を広げて浸水発生被害の多い馬木・苗羽地区において、およそ5年間の計画で雨水浸水対策事業を進めていくということです。



タブレット勉強会

6月15日、第2回定例会の前日に、タブレット勉強会を開催しました。

小豆島町議会では、令和元年12月定例会からペーパーレス議会に取り組んでいます。タブレット端末を導入したことにより、いつでも資料の確認や整理ができるほか、保管場所や廃棄コストの削減が可能となりました。

日頃タブレットを使用する中で感じた疑問等について議員間で情報共有できるように勉強会を行っています。



議会日誌

4月～6月までの主な議会活動についてお知らせします。

4 月

7日 広報編集特別委員会
12日 広報編集特別委員会

5 月

18日 議会運営委員会
第1回臨時会
総務建設常任委員会
19日 香川県町村議会議長・副議長研修会
20日 香川県町村議会議長会正副会長会
27日 伝法川水利組合臨時会
小豆地区広域行政事務組合臨時会

6 月

1日 香川県町村議会議長会臨時会
4日 小豆郡町議会議長会総会・定例会
9日 議会運営委員会
16日 第2回定例会
広報編集特別委員会

編集後記

コロナの感染拡大は残念ながら、まだまだ収束しそうにもない。コロナの為に、それぞれが悩み、ストレスを抱えながら、懸命に日常生活を送っている。そのような中でワクチン接種が順調に進んでいるのは、少しだけ前が開けてきた感があるが、まだまだ油断は禁物である。医療従事者等、各種団体の方々のご苦労には、心から感謝を申し上げます。

目前には東京オリ・パラリンピックが開催されます。そして、明年の今頃は第4回瀬戸内国際芸術祭が開かれ、小豆島が大いに活気づいていることを切に願うものである。

柴田 初子 記

本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4492 香川県小豆郡小豆島町片城甲44-95 TEL(0879)82-7060 FAX(0879)82-7061
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp